

第4回 瀬戸内市総合計画審議会 意見要旨

日時 令和3年3月16日（火）

午前10時00分～午前11時30分

場所 瀬戸内市役所 3階会議室

(1) 第3次瀬戸内市総合計画基本計画（案）について 資料2 資料3 資料4

【委員】

資料2 8ページ「歴史・文化や芸術を大切にすまち」について、文化振興には医療、教育、福祉、産業、観光などの多分野と連携するような政策が必要だと思うので、検討いただきたい。

資料2 21ページ「住んでみたい・住み続けたいと思う住宅があるまち」は、長期で人口バランスを整えていくことを考えていくべきである。ハード面とソフト面の両面で取組を進めていただきたい。

資料2 43ページ「みんなが知恵を出し合い助けあうまち」の指標が「市民活動応援補助金応募数」となっているが、補助金を出すだけで助け合うまちになるわけではない。41ページ「透明で開かれた市役所があるまち」にも関連するが、日頃からの情報共有ができる場づくりや、事業への参加者数などを指標にして、協働の推進を図っていただきたい。

【委員】

資料2 25ページ「便利な情報ネットワークがあるまち」の指標「日常生活でインターネットを活用している市民の割合」について、市民まちづくり意識調査で進捗状況を確認するということだが、調査の際に「インターネットを活用していること」の定義が分かるように記述をして実施していただきたい。

資料2 41ページ「透明で開かれた市役所があるまち」の指標「「広報せとうち」を読んでいる市民の割合」について、平成30年に比べて令和2年は数値が下がっている。魅力的な広報紙やホームページなど、情報発信できるものを多チャンネルで活用し、市の取組や仕組みを知っていただくことが必要である。

【委員】

情報発信についてはDX（デジタルトランスフォーメーション）が必要不可欠なものとなる。地域でDXを進めていくことによって、情報発信をより効果的に行うことができる。今後の情報化の推進は総合計画に記載しておいた方がよい。

(2) 答申(案)について 資料5

【委員】

部署間の連携や、情報収集・発信について焦点を当てていただきたい。

【委員】

全市的にDXを推進するため、情報化を推進するという文言があったほうが良い。

【委員】

細かい文言について調整いただきたい。

【事務局】

会長に一任いただき、最終調整を行い、答申をさせていただきます。

以上